

平成 29 年度

事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日



ふれあいネットワーク

社会福祉法人 高山市社会福祉協議会

平成 29 年度 社会福祉法人 高山市社会福祉協議会事業報告

*はじめに

国が進める「一億総活躍社会」この理念を基軸として、まさに地域の誰もが主役として輝き、お互いに支え合うことができる地域を目指し「絆」拡充への仕組みづくりを広域で実施し、住民の方々、各種団体との連携・協働がとて大切なことであることを再確認した。また従来からの様々な福祉事業を行うことにより「地域の住民が互いに支え合い、住み慣れた地域で安心して生活できる、住民主体の地域づくり」を進めた。

事業実施について、定款記載事業に沿って以下の通り報告します。

(1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

ボランティアによる配食サービス支援、各種福祉研修会、空き店舗活用事業、民生児童委員協議会事務局、地域見守り推進員連絡会事務局、福祉関係団体等連絡協議会事務局の運営、自主活動連絡会事務局の運営、外出支援事業、長寿会事務局、その他、福祉関係団体支援などを実施した。

(2) 社会福祉に関する活動への住民参加のための活動

福祉の推進のためには、住民自身が地域福祉課題を共有し、その解決を自らが考え取り組むことが必要で住民主体の地域づくりを意識し、住民や関係団体との協働により、各種事業を実施した。

*地域見守り推進員の委嘱状交付式及び研修会の開催

開催日

平成 29 年 4 月 19 日 (水)	久々野、朝日、高根地区
平成 29 年 4 月 20 日 (木)	旧高山市内、清見、丹生川、国府、一之宮地区
平成 29 年 4 月 25 日 (火)	荘川地区
平成 29 年 4 月 26 日 (水)	上宝、奥飛騨温泉郷地区

*地域見守り推進員連絡会会長会の開催

開催日 平成 29 年 8 月 18 日 (金)

21 地区の地域見守り推進員連絡会会長全員が出席し、地域見守り推進員連絡会の新役員の選出を行い本会との連携や研修会・地区毎の活動計画について話し合いを行った。

*地域見守り推進員活動の推進

民生児童委員との連携を基本に、見守りについて情報交換を行いながら活動し4ヶ月に一度、「定期訪問活動報告書」の提出を依頼し対象者の把握及び支援を実施した。

また、見守り推進員1名につき5,000円を同支援費として各町内へ支出、総額1,585,000円

*ふれあい事業

2017 ふれあい夏まつりの開催

期 日	平成 29 年 7 月 22 日 (土)
会 場	総合福祉センター及びポッポ公園
参加者	3,000 名 (対象、全ての市民)
内 容	ふれあいステージ、盆踊り、熊本県授産所応援企画 その他バザーなど実行委員会が運営を行う

障がい者ふれあい魚釣り大会の開催

期 日 平成 29 年 9 月 20 日 (水)
会 場 赤保木公園
参加者 172 名 (対象、障がい者)
内 容 魚釣りを通じての交流
共 催 高山ライオンズクラブ

地域交流ふれあいリンゴ狩りの開催

期 日 平成 29 年 10 月 19 日 (木)
会 場 久々野町もだに農園
参加者 223 名 (対象、障がい者、高齢者)
内 容 リンゴ狩りを通じての交流
主 催 高山岳城ライオンズクラブ

第 34 回福祉フェスティバルの開催

期 日 平成 29 年 10 月 21 日 (土)
会 場 総合福祉センター及びポッポ公園
参加者 3,500 名 (対象、全ての市民)
内 容 福祉関係団体等の活動紹介
・展示、発表、バザーなどを実行委員会形式で行った

ふれあい餅つき会の開催

期 日 平成 30 年 2 月 28 日 (水)
会 場 総合福祉センター前広場
参加者 600 名 (対象、全ての市民)
内 容 多くのボランティアの協力により開催

(3) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

① 福祉のまち (広報紙の発行 年間 6 回) を各世帯に対して配布し、ホームページにも掲載し幅広く周知をした。コミュニティFM による周知 (毎週火曜日) 午前 9 時 30 分より 10 分間、毎週木曜日 18 時 12 分より再放送

その他、支部だより、児童センターだより、よって館だより、福祉サービス総合相談支援センターなどの情報発信にも努めた。

② 福祉活動費の助成

福祉活動団体が行う地域福祉活動の事業費の一部として、13 団体に助成した。

(単位:円)

民生児童委員協議会	1,344,000	高山市自主活動連絡会	60,000
高山市身体障害者福祉協会	320,000	高山地区更生保護女性会	30,000
高山市母子寡婦福祉会	230,000	岐阜県視覚障害者協会高山支部	30,000
高山市町内会連絡協議会	180,000	青葉の会	30,000
高山市手をつなぐ親の会	90,000	高山聴覚障害者福祉協会	30,000
高山市保育研究協議会	70,000	高山保護区保護司会	30,000
飛騨地区病弱児を守る会	50,000	合 計	2,494,000

③ ボランティア活動への事業費助成

13 団体 単位：円

菜の花会	700,000	飛騨アジア・アフリカ救援衣料チャリティー実行委員会	50,000
つくしの会	250,000	はさみの会	50,000
手話サークルたつの会	50,000	手話サークルさるぼぼ	15,000
おはなしネットことだま	50,000	シルバーボランティア 虹の会	25,000
語り部ねっと飛騨高山朗読会	50,000	虹の会 (国府)	30,000
笑美の会	30,000	和の会	20,000
あめんぼの会	20,000	合 計	1,340,000

(4) 保健医療、その他の社会福祉と関連する事業

*福祉協力校への支援

	28 年度		29 年度	
	小学生対象	35 件	2,100 名	78 件
中学生対象	4 件	190 名	17 件	398 名
高校生対象	2 件	60 名	2 件	89 名
合計	41 件	2,350 名	97 件	2,758 名

19 小学校、12 中学校、2 高等学校 (計 33 校) に対する福祉関係の活動に関する助成金、各校 50,000 円 合計 1,650,000 円 それぞれの学校特色に合わせて事業を実施し福祉フェスティバルにてパネル展示を行う。

*福祉体験出前講座の実施

身近なところで福祉に関わる活動のきっかけづくりのため、地域へ出向き出前形式の講座を中心に福祉意識の啓発と向上に努めた。

(5) 高山市生活支援体制整備事業

「受託内容」

第 1 層生活支援コーディネーターとしての活動

- ・地域住民同士による、生活支援・介護予防 (例えばゴミ出しや電球交換、雪またじ、集まる場の設置等) に関しての支え合い活動に向けて、資源把握、ニーズ調査、サポーターの養成活動のマッチング (調整)、協議体 (事業運営者の組織) への説明等

4 月～5 月

各関係機関、特に民生児童委員や地域見守り推進員との情報交換を中心に実施

6 月～7 月

高年介護課や福祉関係団体との情報交換を通じて、地域資源について様々な方から情報を収集し整理

※地域資源＝市内に存在する地域福祉活動 (サービス含む) やその活動媒体

8 月～10 月

まちづくり協議会、民生児童委員や地域見守り推進員との連携を進める。地域や福祉関係団体の情報のみではなく企業の活動にも着目し現状を調査

11 月～12 月

第 1 回目の第 1 層協議会への事業の現状報告及び今後の展望について確認、また小単位 (町内) での支え合い活動を展開しようとしている地区での活動支援

※荘川地区、国府地区

1 月

本事業＝地域づくりとして進めてきた中で、まちづくり協議会を推進している市役所協働推進課との協働も進める。まちづくり協議会主体の地域づくりを協働で実施していくと研修等を通じて共有地域づくりを重点にした市民向けの出前講座を開催 (丹生川地区)

2月

本事業と本会活動との共同開催で、福祉サポーター養成講座を実施し、支え合い活動を実施しているボランティア団体や活動団体に繋げる

3月

30年度開催される自主活動団体向けの出前講座に向けて資料作成

30年度及びその後の計画を高年介護課と検討

「29年度生活体制整備事業の振り返り」

介護保険法の改正に伴い、介護サービスの身体介護と生活援助の算出（加算・減算）基準の差は、今後も大きくなると予想されヘルパーの確保等は困難となりつつある。今後、地域住民による支え合い活動（互助や共助）がより必要になるため地域で安心して暮らせられるように地域住民（ボランティア等）による体制を作り上げ、整備することを目的の一つとしている。

厚生労働省は本事業を‘地域づくり’として、地域住民主体の活動となるには数年を要すると伝達している。体制を整えることのみ集中するのではなく、地域住民による活動を地域の方と共に考えていく‘地域づくり’を進めることで、地域住民も今後の高山市のことを「我がこと」として把握し、住み慣れた地域で最後まで暮らし続けられるように、地域住民を中心に行政や社協、関係機関、ボランティア団体、民間企業等が活動を「丸ごと」の意識で今後協働していく。

(6) 共同募金への協力

		目 標 額	実 績 額 (単位:円)
赤い羽根共同募金	29年度	18,000,000	18,580,234
	28年度	18,000,000	20,087,924
	27年度	18,000,000	20,171,345
歳末たすけあい募金	29年度	9,000,000	4,330,000
	28年度	9,000,000	4,442,000
	27年度	9,000,000	4,252,000
合 計	29年度	27,000,000	22,910,234
	28年度	27,000,000	24,529,924
	27年度	27,000,000	24,423,345

歳末たすけあい配分実績

(単位:円)

在 宅 配 分	29年度	135世帯	3,190,000
	28年度	138世帯	3,267,000
	27年度	141世帯	3,436,000
地域福祉推進事業配分	29年度	18事業	1,140,000
	28年度	18事業	1,175,000
	27年度	18事業	905,000
	29年度合計		4,330,000
	28年度合計		4,442,000
	27年度合計		4,341,000

歳末たすけあい地域福祉推進事業配分内訳

(単位：円)

実施団体	実施事業名	配分事業費
わか菜会	ふれあいのつどい新年お楽しみ会	30,000
給食ボランティア菜の花会	給食サービス特別強化事業	300,000
久々野ボランティア連絡会	久々野ボランティア連絡会配食サービス	40,000
木曜ふれあい弁当の会	木曜ふれあい弁当	30,000
高根町給食ボランティアの会	高根町等ふれあい交流事業	30,000
高山市自主活動連絡会	感謝の集い	100,000
高山市民生児童委員協議会	年賀状配付事業	100,000
青葉の会	青空作業所との交流	30,000
高山コスモス作業所保護者会	保護者会主催新年会	50,000
高山日赤分校病弱児を守る会	クリスマス会・花もちの会・お正月遊び	40,000
リハビリ友の会	リハビリ友の会	15,000
山ゆり学園保護者会	新年を祝う会	50,000
児童養護施設夕陽ヶ丘	年取り昼食会	100,000
高山市母子寡婦福祉会	親子ふれあいボウリング	100,000
昭和児童センター母親クラブ	親子クリスマスともちつき会	20,000
ふれあい児童館母親クラブ	クリスマス会・地域交流もちつき会	20,000
乳幼児学級ピッコロハウス	親子クリスマス会	25,000
高山市社会福祉協議会	ふれあい餅つき会	60,000
	合 計	1,140,000

(7) ボランティア活動の振興

市民が積極的にボランティア活動に参加できるような養成研修事業・出前講座の開催とボランティア活動の活性化に向けた情報提供や福祉教育の推進、ボランティア団体への活動支援等の事業、ボランティアセンター登録団体の情報更新を実施した。

- ・ボランティアセンター登録団体冊子作成 通年
- ・ボランティアセンター運営委員会の設置及び開催 2回
- ・ボランティア団体等助成事業説明会 2回
- ・福祉協力校ネットワーク会議 1回 (10名)
- ・各種ボランティア養成講座
福祉共育サポーター養成講座 1回 (延 29名)

- ・各種サロン/ボランティアリーダー研修
コミュニケーション講座 2回 (延 60名)
- ・岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバル
第2分科会運営 1回 (90名)
- ・高山市ボランティア・市民活動フォーラム 1回
- ・岐阜県ボランティアセンター実践検討会議 2回
- ・高山市防災訓練 1回
- ・ボランティア活動保険への加入 2,568名 (昨年度 2,827名)

ボランティア運営支援

ボランティア相談：延 116件

ボランティア派遣：延 30件

- ・ケア21への囲碁ボランティア派遣 (ボランティア：囲碁クラブ)：第2・第4月曜日

- ・ケア21への音楽ボランティア派遣（ボランティア：トゥインクル）隔月
- ・在宅の方への出張理容ボランティア派遣（ボランティア：はさみの会）：2回
- ・その他、各団体への会員登録支援

子どもたちのための被災地支援

夏休みに合わせ、被災地の子どもたちを招いて高山市の観光と当市子どもたちとの交流を促進させる為の助成事業

〈夏季期間〉受入れ団体：2団体 受入児童総人数：58名 助成総額 1,450,000円

(8) 児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業

高山市あゆみ学園利用状況

<児童発達支援事業>

小集団での療育(丁寧な関わり)の中で感覚運動遊びを通じボディイメージの獲得をめざす。この感覚をつかみ、集中力の持続や感情のコントロール・学習していくための力を育て就学につなげた。

<放課後等デイサービス事業>

1年生からの児童を対象に、身体を思いきり動かす運動遊びや書道・パン作り・ダンス・陶芸など、自分たちの参加したい活動に申込み、親子で参加し、それぞれの活動を通して、社会的スキルを学びながら楽しく過ごすことで、好きなことを見つけるきっかけづくりや自己肯定感につなげた。

・開館日数 293日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	854	876	838	852	766	790	4,976名
28年度	756	805	849	873	790	872	4,945名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	737	842	914	730	793	924	4,940名
28年度	748	958	799	812	918	929	5,164名

総利用人数

29年度	9,916名
28年度	10,109名

すきっぷ広場

高山市の2歳児相談後、発達の遅れが心配される子どもと保護者を対象に遊びを通し、体を動かすことを中心にプログラムに沿って活動した。

<ねらい>

- ・親子で遊ぶ経験を通して、子どもの成長、発達を促す
- ・保護者には、子どもの関わり方をさらに理解し、子どもと楽しく関わる姿を目指す取り組み。

<対象>

保育園を利用していない子ども。2歳児検診後、保健師が保護者と関わりを持ち利用開始となる。1クラス10人で、週1回2時間の訓練を実施した。また、保育園・幼稚園入園に向けた「就園コース」も行った。

・開館日数 76日

	28年度	29年度
利用者数	1,395名	1,200名

第二あゆみ学園の運営（社協自主事業）

発達が気になると思われる0歳から4歳程度の療育を必要とする子どもさんが利用する。基本的には2名から5名前後の小集団の活動で、グループの特徴や個人の目標などを意識し、プログラムに沿って療育を実施し、主に親子で体を使って楽しく遊ぶことで、愛着と安定した親子関係を作ってきた。また、保育所等訪問支援事業も随時行っている。

・開館日数 243日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	364	257	321	351	294	310	1,897名
28年度	492	483	496	420	431	497	2,819名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	355	290	351	335	335	400	2,066名
28年度	452	529	567	433	555	558	3,094名

総利用人数

29年度	3,963名
28年度	5,913名

児童・障がい児総合支援事業所（第三あゆみ学園）

就園児対象の高山市あゆみ学園と、0歳から4歳程度の療育を必要とする第二あゆみ学園の機能を併せ持った事業所として、平成29年度4月から運営を目指し、職員の研修を行ないながら二か月前から準備を進めてきた。この事業所は、0歳児から就学までの一貫した支援が必要なお子さんを主として療育を行なう。また、近年需要が高まっている放課後等デイサービスを同時に運営している。

・開館日数 306日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	37	168	252	283	322	353	1,415名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	355	321	320	341	342	406	2,085名

総利用人数

29年度	3,500名
------	--------

(9) 児童センター及び児童館の経営

昭和児童センター

親子サロン「ぼっぼひろば」を全5回実施し、年齢に応じた様々な遊びを体験しながら親子の交流を深めた。また、親子の居場所づくりと食育を目的に「スープの会」を前期に実施した。夏休みには、小学生ボランティアと職員で「真昼のおばけやしき」を計画・準備し、参加した幼児親子や小学生と大いに楽しんだ。幼児と小学生の体力増進を目的とした運動教室（縄跳び・跳び箱・平均台等）を実施した。母親クラブ主催の観劇会を開催し「劇団なんじゃもんじゃ」による臨場感あふれる劇を親子で満喫した。

・開館日数 293日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	2,679	2,326	2,500	2,877	3,069	2,289	15,740名
28年度	3,009	2,454	3,027	3,176	3,051	2,561	17,278名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	2,589	2,415	2,342	1,940	2,059	3,306	14,651名
28年度	2,783	2,512	2,688	2,170	2,399	3,427	15,979名

総利用人数

29年度	30,391名
28年度	33,257名

城山児童センター

子の交流や母親のリフレッシュを目的とした「親子講座」（体操教室・クッキング・子育て相談会・アロマテラピー等）を実施した。健全育成事業では「スポーツクラブ」でクライミング体験や体操教室を実施し、体力増進を図った。また小学生の「ボランティア活動」・「冒険の旅」の活動を通して、達成感を感じることや、仲間作りを育んだ。地域交流ふれあい事業では、空町まちづくり協議会と協働で、「おばけやしき」・「おもちつき」・「寺子屋夏クラブ」等を実施した。子どもから地域の方が多世代交流の中で楽しい時間を過ごし、地域と児童センターとのつながりを深めた。

・開館日数 293日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	1,212	1,138	1,364	1,297	1,414	1,254	7,679名
28年度	1,042	1,237	1,244	1,312	1,417	1,175	7,427名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	1,147	1,314	1,092	835	1,301	1,392	7,081名
28年度	1,407	1,180	1,045	789	1,075	1,290	6,786名

総利用人数

29年度	14,760名
28年度	14,213名

山王児童センター

子育て中の母親の育児ストレスの緩和やリフレッシュを目的にお茶を楽しむ会を毎月実施し、母親同士の交流が図れた。山王保育園との交流行事、ハッピーシアターを実施し交流を深めた。小学生わんぱくクラブ員が取り組んだ、縁日ごっこやハロウィン遊びでの活動において地域の幼児親子や小学生、山王保育園の園児が参加し、大いに楽しみ交流できた。運動遊び(一輪車・縄跳び等)や卓球の参加者が増加し、小学生の体力増進を図ることが出来た。

・開館日数 293日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	1,204	1,177	1,381	1,318	1,433	1,279	7,792名
28年度	1,246	1,325	1,461	1,386	1,432	1,186	8,036名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	1,420	1,251	1,305	936	976	1,491	7,379名
28年度	1,022	1,075	1,084	654	885	1,495	6,215名

総利用人数

29年度	15,171名
28年度	14,251名

ふれあい児童館

地域住民や（併設のふれあいデイサービスの）高齢者等と共に幼児親子や小中学生がグラウンドゴルフ大会や餅つき会、節分会、編み物クラブ等を通して多世代交流を深めた。また小中学生や高校生ボランティアの体験の場を作り、幅広い世代の居場所作りを目的とした各事業（高校生の企画によるクッキングや工作・ちょこっと夏まつり・にこにこクラブ・にこにこ隊等）を実施した。

・開館日数 293日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	1,143	1,036	1,376	1,419	1,322	976	7,272名
28年度	1,302	1,207	1,081	1,049	1,126	834	6,599名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	1,256	912	1,195	817	928	1,419	6,527名
28年度	973	950	773	610	629	1,192	5,127名

総利用人数

29年度	13,799名
28年度	11,726名

高山市ふれあい会館（老人いこいの家・地域利用）

高山市から指定管理を受け、老人いこいの家として部屋の貸し出し業務を行った。

・開館日数 293日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	373	298	421	364	333	303	2092名
28年度	414	291	419	321	320	308	2,073名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	341	279	432	184	275	351	1862名
28年度	344	354	347	195	265	365	1,870名

総利用人数

29年度	3,954名
28年度	3,943名

(10) 介護予防運動指導事業

【受託事業・指定管理事業】

◇ 介護予防事業

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
高齢者健康教室 (説明会1回含)	16	112	15	123	18	186	22	202	21	181	21	174
自主活動支援	0	18	0	0	1	4	2	24	1	7	0	0
自主活動フォローアップ 講座	3	24	6	35	16	128	15	118	16	120	35	264
認知症予防講座	46	395	50	430	53	490	38	305	28	220	18	121
認知症予防教室	1	18	2	39	0	0	1	39	2	49	2	54
合計	66	567	73	627	84	808	78	688	68	577	76	613

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
高齢者健康教室 (説明会1回含)	18	148	22	174	24	213	17	154	16	142	16	143
自主活動支援	2	12	1	6	1	7	0	0	2	19	3	21
自主活動フォローアップ 講座	31	212	30	247	14	146	16	107	21	173	21	158
認知証予防講座	10	73	28	241	25	202	16	152	16	167	14	166
認知症予防教室	2	52	3	53	0	0	1	19	1	17	0	0
合計	63	497	84	721	64	568	50	432	56	518	54	488

平成29年度利用
(参加人数) 7,104名

平成28年度利用
(参加人数) 6,982名

(11) 外出支援事業

支所域を対象にした通院、反復日常的な買い物に関するサービス
〔地域別内訳〕

	丹生川	清見	荘川	一之宮	久々野	朝日	高根	国府	上宝	合計
29年度(回数)	1,070	216	481	652	764	294	544	1,036	1,068	6,125
28年度(回数)	1,179	260	644	848	554	407	747	1,107	1,030	6,776

(12) 福祉サービス利用援助事業

岐阜県社会福祉協議会から委託を受けている。更なる需要に対応するために、認知症高齢者・知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方を対象に適正なサービスの提供、身の回りのことや金銭管理などの支援を重ね、実績数を増やし誠意を持って対応した。

*日常生活自立支援事業（受託事業）実績

相談・援助の実績

① 実契約件数

年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
平成29年度	38	14	33	3	88
平成28年度	38	13	32	4	87

② 年度内終了者数及び新規契約者数

契約終了者数

・死亡	11名
・成年後見へ移行	1名
・財産管理事務委任契約へ	1名
・施設管理移行(向陽園)	2名
合計	15名

新規契約者数

合計 16名

③ 援助件数

(延べ件数)

年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
平成29年度	1,826	954	2,325	211	5,316
平成28年度	1,187	616	1,099	191	3,093

※ 実支援件数の他、利用者からの電話相談件数を含む

④ 関係機関との連絡調整及び広報活動、周知活動などを継続した。また、民生委員・地域見守り推進員等の会議ほか介護事業者・地域ケア会議での情報提供を随時実施した。

*法人後見事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等、判断能力が不十分なために意思決定が困難な方々の判断能力を補うため、本会が成年後見人となることにより、福祉後見の理念のもとに本人の財産管理、身上監護を行い、高齢者、障がい者の方々が安心して日常生活を送ることができるよう支援を行った。

支援件数（延べ件数）

年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
平成29年度	143	253	115	511件
平成28年度	156	214	106	476件

実支援件数のみ

① 運営審査委員会 平成30年3月29日開催

委員会構成メンバー（弁護士・司法書士・福祉事務所長・県社協部長・社会福祉士会・福祉施設代表・高山社協常務理事）

② 後見等受任件数及び支援経路

- ・認知症 9件（親族申立9件）
 - ・知的障がい 4件（親族申立2件、本人申立2件）
 - ・精神障がい 7件（親族申立5件、市長申立2件）
- 合計 20件

③ 年度内終了及び新規受任件数

終了件数

- ・認知症 1件（市長申立）
- 合計 1件

新規受任件数

- ・認知症 1件（市長申立）
 - 1件（親族申立）
 - ・精神障がい 1件（親族申立）
- 合計 3件

(13) 生活福祉資金貸付事業

相談者との面談に際しては、他法、他施策の活用や他の関係機関への橋渡し等、問題の解決に向けた業務を心がけた。

生活福祉資金貸付状況

(単位：円)

項目	相談件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	15件	0件	0
福祉費（療養費、引越し費用など）	62件	1件	240,000
教育支援資金	38件	3件	1,420,000
緊急小口資金	74件	5件	259,000
計	189件	9件	1,919,000

(14) 心配ごと相談事業

年間相談日は98日で合計72件の利用者に対して相談を実施した。相談者の相談に耳を傾け心配の緩和できるように傾聴に努めた。

相談内容としては家族の案件が多く、年金、生計に関することが多くを占めた。主に行政福祉課、社協等の関係機関につなぐケースが多い。

(15) リフトバス運行事業

障がい（児）者、高齢者等が各種行事や研修会等に参加する際の移動手段として、社会参加の促進と自立の支援を図るため、車イス専用リフトバス「あおぞら号」を運行した。

年度	件数	利用人数
29年度	141件	2,134名
28年度	148件	2,383名

社協事業	58件	利用者数	831名
外部団体	83件	利用者数	1,303名

(16) その他この法人の目的達成のために必要な事業

社会福祉事業を適正に実施・運営するため、法令、定款、諸規程に基づき、理事会評議員会、監事会を開催した。

(1) 理事会の開催 (3回)

第1回理事会 (平成29年5月29日 総合福祉センター)

審議事項

- 第1号議案 平成28年社会福祉法人高山市社会福祉協議会事業報告の認定について
- 第2号議案 平成28年社会福祉法人高山市社会福祉協議会決算について
- 第3号議案 平成29年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)について
- 第4号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会評議員の欠員に伴う選任・解任委員会に推薦する新評議員の人選(案)について
- 第5号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会第1回評議員会開催について

第2回理事会 (平成29年6月16日 総合福祉センター)

審議事項

- 第1号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会会長・副会長及び常務理事の選任について

第3回理事会 (平成30年3月12日 総合福祉センター)

審議事項

- 第1号議案 平成29年度専決処分(第1号)の承認について
- 第2号議案 平成29年度専決処分(第2号)の承認について
- 第3号議案 平成29年度専決処分(第3号)の承認について
- 第4号議案 平成29年度専決処分(第4号)の承認について
- 第5号議案 平成29年度専決処分(第5号)の承認について
- 第6号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 第7号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- 第8号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 第9号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
- 第10号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会職員就業規程・嘱託職員就業規程及び臨時職員就業規程の一部改正について
- 第11号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会育児・介護休業規程の一部改正について
- 第12号議案 平成29年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)及び公益事業区分補正予算(第1号)について
- 第13号議案 平成30年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会事業計画について
- 第14号議案 平成30年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会予算について
- 第15号議案 第4次社会福祉法人高山市社会福祉協議会地域福祉活動計画について
- 第16号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会第2回評議員会の開催について

(2) 評議員会の開催 (2回)

第1回評議員会 (平成29年6月16日 総合福祉センター)

審議事項

- 第1号議案 平成28年社会福祉法人高山市社会福祉協議会事業報告の認定について
- 第2号議案 平成28年社会福祉法人高山市社会福祉協議会決算について
- 第3号議案 平成29年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)について
- 第4号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会理事及び監事の任期満了に伴う後任者の選任について

第2回評議員会（平成30年3月26日 総合福祉センター）

審議事項

- 第1号議案 平成29年度専決処分(第1号)の承認について
- 第2号議案 平成29年度専決処分(第2号)の承認について
- 第3号議案 平成29年度専決処分(第3号)の承認について
- 第4号議案 平成29年度専決処分(第5号)の承認について
- 第5号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 第6号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会役員等の報酬並びに費用弁償の支給に関する規程の制定について
- 第7号議案 平成29年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)及び公益事業区分補正予算(第1号)について
- 第8号議案 平成30年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会事業計画について
- 第9号議案 平成30年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会予算について
- 第10号議案 第4次社会福祉法人高山市社会福祉協議会地域福祉活動計画について

(3) 監事会の開催（1回）

第1回監事会（平成29年5月22日 総合福祉センター）

監査事項 平成28年度事業の執行状況並びに会計の収入支出決算について

(4) 評議員選任・解任委員会の開催（1回）

（平成29年5月29日 総合福祉センター）

審議事項 社会福祉法人高山市社会福祉協議会新評議員の選任について

財政基盤の確立

社協運営体制の確立と事業の拡充を図るためには、安定した財源の確保が必要になり、自主財源となる会費が最も重要である。町内会の協力を得て、会員の加入促進と、法人会員、団体会員の協力について幅広く依頼をした。

◇社協会員加入状況

（単位：円）

住 民 会 員	29年度	22,469口	22,468,500
	28年度	22,351口	22,350,500
法 人 会 員	29年度	333事業所	3,563,000
	28年度	340事業所	3,636,000
団 体 会 員	29年度	25団体	326,000
	28年度	26団体	307,000
合 計	29年度		26,357,500
	28年度		26,293,500
	27年度		26,612,500
	26年度		27,167,800

寄附状況

種 別	28年度	29年度
寄附件数(件)	57	53
寄附金額(円)	2,231,586	2,859,034

空き店舗活用事業

空き店舗を活用した地域の拠点づくりとしてそれぞれ3か所で展開している。高齢者サロンや創作活動、地域の保育園との交流など様々な事業に取り組んだ。

※12月より「よって館本町」を移転し、社会福祉法人清徳会地域交流館1階にて「よって館宙」を開設

よって館本町・宙

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
利用人数	496	362	348	275	229	347	2,057名
利用月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
利用人数	357	309	350※	206※	345※	320※	1,887名

よって館初田

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
利用人数	283	295	322	299	284	275	1,758名
利用月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
利用人数	270	277	268	338	260	287	1,700名

よって館天満

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
利用人数	470	449	493	416	411	387	2,626名
利用月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
利用人数	427	418	371	396	390	530	2,532名

総利用人数

29年度	12,560名
28年度	13,170名

福祉大会事業

第42回高山市社会福祉大会の開催

期 日 平成29年11月11日(土)

会 場 高山市民文化会館 小ホール

参加者 410名(対象、全ての市民)

内 容 福祉関係者及び団体に対する社会福祉協議会会長表彰並びに記念講演を行った。
今回はNHK手話ニュースキャスター「中野 佐代子」さんをお招きした。

高齢者健康増進スポーツ施設運営事業(飛騨高山グラウンド・ゴルフ倶楽部)

利用状況(利用人数)

(12月～3月までは休業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
平成29年度	784	1,144	982	824	613	806	792	834	6,779名
平成28年度	944	1,277	1,206	1,145	783	887	1,208	1,094	8,544名

第10回福祉チャリティゴルフコンペ

平成29年10月7日(土) 飛騨高山カントリー倶楽部

参加者 95名 協賛団体数 53団体

チャリティー金 158,000円

全国障がい者スポーツ大会支援

支所域・支部の主な活動

(1)丹生川支部

啓発事業

- ・町内ミニコミ紙「はちがまち」記事掲載（年 12 回）
- ・その他、地域情報誌への記事掲載（ほのぼの通信・まち協だより 随時）

児童生徒支援事業

- ・中学 1 年生総合学習支援（福祉学習・高齢者交流等 延べ 10 回・約 60 名）
- ・小学 6 年生総合学習支援（出前講座等 1 回 約 50 名）
- ・中学生対象サマーショートボランティア（2 名）

高齢者支援事業

- ・配食サービス事業（毎週月・木 年間約 100 日 のべ約 267 食）
- ・コミュニケーション麻雀サロン（月 2 回開催）
- ・ふれあいいいききサロン支援事業（助成事業、出前他） 30 サロン
- ・自主活動グループ支援（リハビリ友の会月 1 回延べ 24 名参加）
- ・コミュニケーション麻雀高山市交流大会参加支援
- ・介護予防サロン「なかよし健康クラブ」の企画運営（月 1 回延べ約 100 名参加）

子育て支援事業

- ・子育てサロン「乳幼児親子の集いわくわくサロン」の実施（月 1 回のべ約 157 組 317 名参加）及びメール配信事業、
- ・友愛こどもクラブ（長期休暇留守家庭教室事業）：夏休み 16 日開設 延べ 80 名利用
冬休み 4 日開設のべ 6 名利用

人材育成事業

- ・カメラマンボランティア「すくな塾」（長寿会軽スポーツ大会、夏休みこども体験教室などの写真撮影、福祉フェスティバルでの遺影写真撮影会）

障がい者支援事業

- ・障がい者デイケア事業（リハビリ友の会と合同で月 1 回実施）
- ・障がい者と家族の日帰り研修事業

他団体支援

- ・八十路を語る会（敬老会）実行委員会支援
- ・丹生川地区自主活動団体「ふるさと福祉村」事務局及び各種事業の展開
- ・障がい者生きがい支援（手をつなぐ親の会、身障協会）
- ・地域ケア会議（地域づくり交流会）への参画
- ・丹生川区長寿会事務局
- ・丹生川診療所研修医及び名古屋大学医大生への地域福祉事業研修
- ・丹生川まちづくり協議会

(2)清見支部

啓発事業

- ・清見支部だよりの発行（年6回）

児童生徒支援事業

- ・小、中学生を対象とした福祉出前講座の実施
- ・こどもまつりの開催
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・クリーンボランティア

高齢者支援事業

- ・ふれあいいきいきサロン支援事業（大原・毎週火曜日 7名）
- ・自主活動サロンの支援
- ・高齢者つどいの広場（毎週金曜日 8名）
- ・サロン交流会の開催（年2回開催約74名参加）

子育て支援事業

- ・乳幼児学級「わくわく教室」の支援

他団体支援

- ・清見区長寿会事務局
- ・清見町まちづくり協議会との連携事業
- ・更生保護女性会清見分会
- ・ひだ清見イベント推進実行委員会

(3)荘川支部

高齢者支援事業

- ・高齢者対象「おたっしや倶楽部」の開催（毎週月曜日）
- ・自主活動サロン支援・趣味の会手芸サポート、出前講座
- ・サロン交流会の開催（年1回約70名）
- ・配食サービス事業（年6回）

啓発事業

- ・支部だより「ふれ愛メールしょうかわ」の発行（年6回）

児童生徒支援事業

- ・小学生児童と自主活動サロン（新渕）との交流
- ・中学生児童と子育て広場
- ・どんぐり広場の交流高齢者支援事業

子育て支援事業

- ・子育て広場「どんぐり広場」の支援（毎週木曜日）
- ・サンタクロース隊

介護者支援事業

- ・介護者の集い（9名）

冬季交流事業

- ・コミュニケーション麻雀入門講座

他団体支援

- ・荘川地区敬老会
- ・荘川町まちづくり協議会ふくし部会
- ・荘川区長寿会事務局
- ・各ボランティア団体

(4)一之宮支部

啓発事業

- ・支部だより「ゆめざくら」の発行（年6回）
- ・高齢者通信「さくら新聞」の発行（年12回）

児童生徒支援事業

- ・小、中学生を対象とした福祉出前講座の実施（毎月1回・延べ182人参加）
- ・夏休みクリーンボランティア事業（年1回・30名参加）
- ・赤い羽根共同募金活動に参加

高齢者支援事業

- ・高齢者の集い「コスモス会」（毎月1回）
- ・各地区サロン支援リーダー研修会
- ・サロン交流会（年1回・30名参加）
- ・サロンリーダー会議の実施（年1回）
- ・配食サービスの実施（毎週木曜日）

子育て支援事業

- ・子育て支援事業「ネバーランド」（毎週火曜日）

人材育成事業

- ・ボランティア活動支援

他団体支援

- ・一之宮町敬老会実行委員会
- ・一之宮まちづくり協議会福祉部会に所属
- ・一之宮区長寿会事務局
- ・身体障害者福祉協会一之宮分会

(5)久々野支部

啓発事業

- ・支部だより「かけはし」の発行（年7回）
- ・お一人暮らし高齢者通信「ちょっとひとやすみ」の発行（年3回）
- ・サロンリーダー研修会の開催（2回）

児童生徒支援事業

- ・夏休み中学生ワークキャンプ（8名）

- ・夏休み小学生サマーショートボランティア（8名）
- ・小学3年生と地域の高齢者との交流（年3回）
- ・小学4年生への福祉出前講座（年4回）

高齢者支援事業

- ・南エリア一人暮らし高齢者の集い（21名）
- ・配食サービス事業「木曜ふれあい弁当」（42回）
- ・地域の高齢者と乳幼児親子交流花餅作り（25名）
- ・地域見守り推進員連絡会（4回）
- ・コミュニケーション麻雀高山市大会

子育て支援事業

- ・乳幼児学級「なかよしランド」（毎週1回実施、延べ1,629名）
- ・エリア交流事業、親子交流体験教室の実施

介護者支援事業

- ・介護者の集い（37名）

他団体支援

- ・久々野ボランティア連絡会（会議、高齢者配食サービス(年2回、計240食)
- ・久々野区長寿会事務局(毎月の広報誌「いこい」発行・事業支援)
- ・各サロン活動継続支援
- ・久々野まちづくり運営委員会
- ・身体障害者福祉協会久々野分会
- ・ベルマーク活動（ささゆり会）支援

(6)朝日支部

啓発事業

- ・支部だよりの発行（年6回発行）

児童生徒支援事業

- ・朝日中学生と独居高齢者のふれあい事業実施（年1回）
（独居高齢者3名、中学生14名）

高齢者支援事業

- ・配食サービス事業（木曜ふれあい弁当）（42回実施、毎回50食程度）
- ・高齢者集いの広場（42回実施、毎回7名程度参加）
- ・秋神交流サロン事業（2月から3月までの毎週火曜日実施、毎回15名程度参加）

子育て支援事業

- ・乳幼児学級支援（開級式、ブルーベリー狩り、クリスマス会等）
- ・エリア交流事業（お店屋さん、ミニ運動会、焼き芋パーティー等）

他団体支援

- ・紙おむつ等介護用品購入支援、健康サロンの継続支援（7ヶ所）
- ・朝日地区敬老会、朝日区長寿会事務局
- ・朝日まちづくり協議会

(7)高根支部

啓発事業

- ・高根支部だよりの発行（隔月発行）、
- ・高齢者通信「やまびこ」の発行（隔月発行）

高齢者支援事業

- ・配食サービス事業（木曜ふれあい弁当）（42回実施、333食）
- ・高齢者支援事業・・・公民館サロン 地域間交流サロン事業「よったかね」
（1月から3月まで毎週水曜日 20名参加）
- ・冬季ファミリーホーム「のくとい館」
- ・南エリア一人暮らし高齢者の集い 3名
- ・お一人暮らし高齢者買い物・お出かけ事業（4回実施）
- ・認知症予防教室(2回 26名参加)

児童生徒支援事業

- ・朝日中学生と独居高齢者のふれあい事業実施（年1回）
（お一人暮らし高齢者1名、中学生7名）

子育て支援

- ・「スイーツの会」「手芸の会」（毎月1回）
- ・エリア交流事業（お店屋さん、ミニ運動会、焼き芋パーティー等）
- ・元気広場

他団体支援

- ・高根まちづくりの会
- ・高根区長寿会事務局
- ・身体障害者協会高根分会
- ・母子寡婦福祉会高根支部
- ・ひまわり会

(8)国府支部

啓発事業

- ・国府支部だよりの発行（7回発行）

児童生徒支援事業

- ・国府小福祉学習出前（8件、延べ人数183名）
- ・国府中ボランティア出前（1件、延べ人数226名）
- ・夏休み学童保育、高齢者施設ボランティア体験
（国府中86名、吉城高校18名 計104名参加）

高齢者支援事業

- ・認知症予防教室「おたのしみ会」の開催（毎月1～2回延べ190名）
- ・高齢者自主サロンへの出前講座（27グループ 約360名）
- ・高齢者自主サロン交流会（計19名）
- ・高齢者自主サロンリーダー研修（計25名）
- ・一人暮らし高齢者への配食サービス（2回実施 約90名）

子育て支援事業

- ・親子ふれあい人形劇 (63名)
- ・子育てサロンミニ運動会 (72名)
- ・子育てサロンもちつき会 (176名)

介護者支援事業

- ・介護者の集い (年1回実施計延べ5名 ※2月申込者なく中止)

国府トレーニング室事業

- ・国府トレーニング室 (年間計 11,037名)
- ・国府福祉センターの運営管理業務 トレ室健康講座
ボクシングエクササイズ講座、健康講座 2講座 5回延べ 30名

他団体支援

- ・国府区長寿会事務局・障がい者体育大会支援
- ・まちづくり絆部会協力

(9)上宝支部

啓発事業

- ・上宝支部だよりの発行(6回発行)

児童生徒支援事業

- ・北稜中福祉学習出前講座 (5件、延べ人数 80名)
- ・北稜中夏休みボランティア体験
(述べ 上宝デイ 15名、デイまなか 14名、デイ湯の華 7名、穂高の庭 5名)
- ・冬休み学童保育 手話教室 (1件 述べ 6名)

高齢者支援事業

- ・ふれあいいいききサロン支援事業、配食サービス(36回 401人)

子育て支援事業

- ・子育てグループ支援事業 (運動会、クリスマス会、豆まき、音遊び等 14回 549人)
上宝町 (いちご学級) さるぼぼキッズ支援

介護者支援事業

- ・介護者の集い

他団体支援

- ・はつらつ運動会への協力
- ・上宝区長寿会事務局
- ・たからまちづくり協議会協力
- ・長寿会介護予防事業出前講座

公益を目的とする事業実施について、以下の通り報告いたします。

(1) 高山市総合福祉センター事業の経営

高山市総合福祉センターの管理

高山市から指定管理の委託を受け、高山市総合福祉センターの管理と地域福祉活動の場として、また、高齢者の生涯学習の場として部屋の貸し出し業務を行った。

・開館日数 293 日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	7,518	6,458	7,104	6,975	7,130	6,457	41,642
28年度	7,722	6,695	8,135	7,837	7,107	6,902	44,398
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	6,501	6,587	6,747	5,096	6,050	8,555	39,536
28年度	6,931	6,932	7,277	5,524	6,970	8,678	42,312

総利用人数

29年度	81,178名
28年度	86,710名

高山市老人福祉センター

高齢者を中心に、余暇活動、文化的な活動を実施するために様々な講座、事業を企画した。和のフィットネス講座、社交ダンスなどの教室をきっかけに、参加者が自主活動として独立して活動ができるように配慮した。またふれあいのつどい（一人暮らしの高齢者）では引き込みりの解消と仲間づくりに心がけ、多くの利用者の利便性を図った。

・ふれあいのつどい	12回開催	延	426名
・総合福祉センター入浴事業	52回開催	延	413名
・社交ダンス教室	6回開催	延	27名
・健康踊り教室	4回開催	延	122名
・和のフィットネス講座	3回開催	延	70名
・グラウンドゴルフ初心者教室	2回開催	延	45名
・囲碁大会	2回開催	延	146名

◎相談 延 161件

高山市身体障がい者福祉センター

在宅障がい者の生活の質を上げるために、ニーズを聞き取り「ふれあい」を深めるために職員が関わりをもち幅広く実施した。特にサロン活動ではパソコン、書道、編み物など講師を招いて実施し参加者の交流と親睦が深まった。またエレベーターの改修により開催場所を工夫しながら利便性を図ることに努めた。

クリスマス会では、異年齢層の交流の中から、様々な情報交換が行われ話が弾み開催時間を越えても盛り上がりを見せていた。

それぞれの事業終了後、参加者からのニーズを聞き取り事業に反映することに努めた。

・身障サロン	40回開催	延	199名
・陶芸教室	4回開催	延	43名
・野外活動支援	2回開催		57名
・クリスマス会	1回開催		44名

◎相談 延 119件

高山市母子父子福祉センター

ひとり親家庭等の親子のふれあい交流を目的に、さまざまな事業を実施した。バスハイキングでは長島スパランドやモンキーパーク等に出かけた。クッキングやクリスマスリース講座では親子で一緒に作る体験ができた。また、親子スキの会やバランスボール講座で、親子で身体を動かす楽しさやスキの技術の向上を図った。事業の中で日頃の思いや悩みを話せるような関係づくりを心がけ、また日々の生活や育児等についての不安の軽減や緩和を図れるような場を提供することで母親同士の交流も深まった。

- ・親子交流事業・・・年間3回 30名
 - ・親子スキの会・・・年間1回 19名
 - ・バスハイキング・・・年間3回 73名
 - ・親子クッキング・・・年間4回 19名
- 合計 141名

◎相談 延 140件

(育児相談・子どもの生活環境に関するあらゆる相談・母親の就職や子どもの進学など)

(2) 高山市荘川福祉センター事業の経営

高山市から指定管理を委託し、高山市荘川老人福祉センターの管理と部屋の貸し出し業務を行った。

・開館日数 294日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	362	305	270	278	161	73	1,449名
28年度	188	274	291	153	304	148	1,358名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	145	517	99	173	270	362	1,566名
28年度	215	205	180	161	250	258	1,269名

総利用人数

29年度	3,015名
28年度	2,627名

(3) 高山市国府福祉センター事業の経営

高山市から指定管理を受託し、高山市国府福祉センターの管理と生涯学習の場、介護予防の場として部屋の貸し出し業務を行った。

・開館日数 294日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
29年度	1,573	1,562	2,338	1,668	1,596	1,619	10,356名
28年度	1,644	1,451	1,826	1,838	1,601	1,861	10,221名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
29年度	1,866	1,692	1,456	1,924	1,791	1,783	10,512名
28年度	1,579	1,467	1,273	1,359	1,527	1,883	9,088名

総利用人数

29年度	20,868名
28年度	19,309名

(4) 高山市福祉サービス総合相談支援センター事業

高山市からの委託を受け、高山市役所福祉課内及び各支所に専門職員を配置し相談対応を行っている。事業開始3年目となった「高山市福祉サービス総合相談支援センター」「高山市地域包括支援センター」事業では、相談者に常に寄り添った伴走型の相談支援に心がけて事業を推進した。

特に生活困窮相談の件数は平成28年度に大幅に増加したため、平成29年度からは担当職員を1名増員（他業務と兼務）して対応した。

また、平成28年度より市が介護予防・日常生活支援総合事業を実施したことにより、ケアプラン作成件数は増加している。

<延べ相談件数>

窓口	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
一般相談	40	35	39	36	33	53	236
生活困窮相談	248	258	248	236	285	236	1,511
障がい児者相談	128	138	126	106	104	84	686
高齢者相談	2,157	2,165	2,354	2,175	2,357	1,929	13,137
計	2,573	2,596	2,767	2,553	2,779	2,302	15,570
窓口	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
一般相談	40	42	42	39	36	38	237
生活困窮相談	290	287	268	244	217	257	1,563
障がい児者相談	133	129	127	108	103	118	718
高齢者相談	2,204	2,360	2,640	2,304	2,376	2,470	14,354
計	2,667	2,818	3,077	2,695	2,732	2,883	16,872

平成29年度合計

一般相談	473
生活困窮相談	3,074
障がい児者相談	1,404
高齢者相談	27,491
計	32,442件

平成28年度合計

一般相談	473
生活困窮相談	2,736
障がい児者相談	1,443
高齢者相談	24,968
計	29,620件

<予防プラン作成件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
直営	531	540	545	547	552	558	3,273
委託	480	491	501	515	488	476	2,951
計	1,011	1,031	1,046	1,062	1,040	1,034	6,224
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
直営	564	567	566	566	586	586	3,435
委託	488	508	491	485	478	481	2,931
計	1,052	1,075	1,057	1,051	1,064	1,067	6,366

平成29年度合計

直営	6,708
委託	5,882
計	12,590件

平成28年度合計

直営	5,980
委託	5,665
計	11,645件